

# 新規イチゴ栽培者の技術習得支援

高島農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

高島地域では、平成 29 年度からイチゴ栽培に取り組んだ生産者が 2 名いますが、収穫開始の遅れ等により、収量向上に至っていませんでした。

一方、平成 30 年度から農大就農科を修了した 2 名が新たにイチゴ栽培に取り組むことになりました。

そこで、これら 4 名を対象に、1 年間の栽培の反省に基づく改善支援と新規の技術習得支援を行いました。



写真 1 集合研修会での現地研修

## 【普及活動の内容】

技術の習得、仲間づくりを目的に、技術のポイントとなる時期に合わせて集合研修会を年間 5 回開催しました。

また、それぞれの生育状況や課題に応じた栽培指導を行うため、1 週間に 1 回程度の現地巡回を合わせて実施しました。

特に台風 21 号前後には、事前の台風対策や被害後の対応を重点的に行ってきました。



写真 2 台風により新設ハウスの 1/3 が倒壊

## 【普及活動の成果】

対象者 4 名のそれぞれの結果は以下のとおりです。

イチゴの栽培経験	栽培面積 (m <sup>2</sup> )	定植苗の確保	ハダニの抑制	12月収量	就農計画の達成状況
1年	375m <sup>2</sup>	○	△	×	△
1年	240m <sup>2</sup>	○	○	×	×
無	525m <sup>2</sup>	○	○	×	×
無	300m <sup>2</sup>	△	△	×	○

○は90～100%、△は60～89%、×は59%以下



写真 3 収穫の様子

2 名が大きな台風被害にあいましたが、何とか栽培を継続することができました。

また、集合研修会での交流により対象者同士の苗の融通や作業の助け合いもできました。今後は総収量の目標達成に向けてイチゴの樹勢維持管理指導を行うとともに、次作は 12 月から収穫できるよう育苗管理から改善していきます。

### ◎対象者の意見

台風の影響でハウスが一部倒壊した時は今後どうしてよいかわかりませんでした。が、被害後にうまく相談に乗ってもらえたので、前向きに取り組むことができました（新規就農者）。